



『大谷翔平はどのように成長したのか？』

校長 大木 克巳

10月上旬、大谷翔平選手がアメリカの専門誌ベースボール・ダイジェストの野手部門の最優秀選手に選出されたという記事を見つけました。全米野球記者協会の会員19人のうち、16人が1位票を入れての受賞だそうです。2001年のイチロー選手に続き、日本人MVPへの期待も高まります。感染症のため暗いニュースが多かった中、朝テレビをつけると大谷選手のホームランの映像で元気づけられたものです。打者として46本塁打、投手として9勝をあげた今年の成績は素晴らしいものですが、それ以上に彼の人間性に魅力を感じます。

彼の恵まれた体格や身体能力は天性のものでしょうが、**礼儀正しさや親しみやすさ**は、両親の教育の影響が大きいとあるスポーツジャーナリストが著書の中に書いています。「大谷選手の父は社会人野球で活躍、母も同じ会社のバドミントン選手。兄と姉がおり3人兄弟の末っ子として成長した。子供の頃から、両親は家庭内で大谷選手を叱ることはほとんどなく、大切にしたのは子供が安らげる空間を作ること。両親の唯一の決め事は『子供の前で夫婦げんかはしない』。快適で楽しい時間を共有するために大切にしていたのは食事、夕食は5人家族そろって食卓を囲む。好き嫌いも特に口うるさく言うこともなかった。♥当たり前でごく普通の家庭の様子がかがえます。

また、グラウンドでのごみ拾いも話題になります。これは、高校時代の恩師・佐々木監督の影響を受けているそうです。「ごみは人が落とした運。ごみを拾うことで運を拾うんだ。そして自分自身にツキを呼ぶ。そう発想しなさい」と教えられ実践しているそうです。高校時代の彼の「目標達成シート」には『ドラフト1位指名を8球団』という目標達成のために、8つの要素が書き出されています。野球の技術的な要素『体づくり』『コントロール』などの目標立ては当然ですが、感心なのは『人間性』や『運』の要素の目標立てを行っているところです。『人間性』に関する要素には「愛される人間」「思いやり」「礼儀」「感謝」「信頼される人間」などの目標が掲げられています。

『運』の要素では、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋の掃除」などがあります。「当たり前だよ」と思いませんか？メジャーリーグでも成功するために、これらのことを今でも実践している大谷選手、彼の人間性があるからこそ多くの人から愛されるのだと思います。「**当たり前のことを、当たり前にする**」けっこう難しいことですよ。

